NEWS LETTER

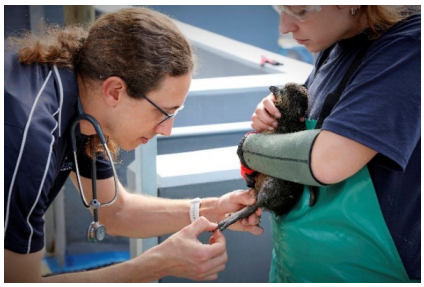
2026年11月19日

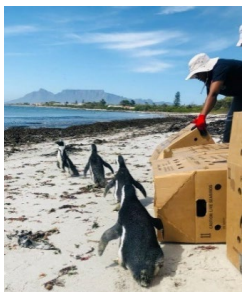
実施報告

サンシャイン水族館が協力したクラウドファンディング
「絶滅の危機―野生のケープペンギンをサンシャイン水族館と共に守る。」
目標の126%となる総額630万円を達成！

サンシャイン水族館（東京・池袋）は、7月13日（月）～9月30日（水）の期間に保全教育団体「ShoeZ（シューズ）」が実施した「ケープペンギンの保全のためのクラウドファンディング」に返礼品の提供等で協力し、期間中、513名の方々から総額630万円の支援を集め、当初の目標の500万円を26%上回る結果となりました。「ケープペンギンを守りたい」という支援者の温かいお気持ちにより集まった支援金は、南アフリカの保護団体「SANCCOB（サンコブ）」へ12月ごろ寄付されます。







SANCCOBの活動の様子（提供：SANCCOB）

クラウドファンディング実施の背景

サンシャイン水族館と「ShoeZ」は、2021年より4月25日の「世界ペンギンの日」に合わせて野生動物の直接的な保全へとつながる様々なプログラムを実施し、南アフリカの保護団体「SANCCOB」へこれまでの計5年で総額約200万円の寄付をしてまいりました。しかし、「10年後には野生下で姿が消えてしまうかもしれない」と言われている絶滅危惧種のケープペンギンを救うためには、まだまだ取り組むべき課題が残ります。特に、「SANCCOB」が今年取り組むプロジェクトである負傷した海鳥の手術やリハビリ、ヒナの育成など「新ICU・手術室・ヒナ飼育ユニット」の建設には、約3,000万円が必要となります。これらを実現するために、本プロジェクトを「ShoeZ」とともに企画し、ケープペンギンを飼育する当館は、ペンギンへの理解が深まるリターンの提供や情報発信の役割を担うことになりました。

年度	寄付金額
2021年	約20万円
2022年	約30万円
2023年	約57万円
2024年	約39万円
2026年	約50万円

「世界ペンギンの日」で当館がこれまで「ShoeZ」を通じて「SANCCOB」へ寄付した金額

今回のクラウドファンディングで皆様からお預かりした630万円の支援金につきましては、手数料、諸経費を引いた金額を寄付します。「SANCCOB」には「ShoeZ」から寄付し、日々のエサ代や薬代、ペンギン治療施設の建設費など、ケープペンギンを絶滅から救うための活動資金として大切に使用される予定です。

プロジェクトの概要

プロジェクト名称：絶滅の危機―野生のケープペンギンをサンシャイン水族館と共に守る。
期間：7月13日（月）12:00 ～9月30日（水）23:00
実施目標金額 ：500万円
結果：支援総額630万円（目標達成率 126%）、支援者数513名
主催：ShoeZ　協力：サンシャイン水族館

クラウドファンディングサイト
「READYFOR（レディーフォー）」：
https://readyfor.jp/projects/shoez-sunshine_aqua-2026

ShoeZ（シューズ）

2014年に有志で結成された団体で、現在約10名のメンバーで様々なプログラムの企画・運営を行っています。誰もが気軽に訪れる動物園や水族館で、動物たちをよく観て、体の作りや行動の意味を理解し、その先にある自然環境に思いをのせていく。そして、動物たちと自然環境の間にある大切なつながりを知り、そのつながりを守るために、私たちに出来る行動を見つけていく。各地の動物園や水族館にご協力を頂きながら、大切なメッセージをたくさんの人に届け続けています。

南アフリカ沿岸鳥類保護財団「SANCCOB（サンコブ）」

南アフリカに拠点を置き、深刻な危機にあるケープペンギンをはじめとした海鳥を保護し、絶滅を防ぐために活動している非営利団体です。1990年代に起きた大規模な重油流出事故の際には、SANCCOBを拠点に世界中からボランティアが集結し、油まみれになった数多くのペンギンの命を救い、再び野生の海へ帰すという大規模な救護活動を実現させました。
公式ウェブサイト https://sanccob.co.za/

※画像はイメージです。

リターン体験実施報告（一部）

サンシャイン水族館では、クラウドファンディングにご支援いただいた方へ感謝の気持ちを表し、保全への理解やケープペンギンに関する知識をさらに深めていただくため、リターンとして当館ならではの体験を提供しました。

■ペンギンバックヤードツアー


ペンギンのエサ準備の様子


濾過槽見学の様子

普段は立ち入ることのできない、ケープペンギンを飼育しているバックヤードへご案内。「草原のペンギン」水槽や「天空のペンギン」水槽の水を維持している濾過槽など、通常のガイドツアーでご案内していないリターン限定の特別バージョンで実施しました。
また、ペンギンのエサの準備として、新鮮な魚を選び分ける作業もご体験いただきました。

■羽根洗い＆ペンギンワークショップ


支援者が数えた羽

ペンギンの体には何枚の羽が生えているのか、飼育スタッフもまだ知らない謎を解き明かすべく、換羽期にペンギンの足を守るために敷いている人工芝から飼育スタッフが羽をできる限り回収し、皆様に一枚ずつ、枚数を数えていただきました。ケープペンギンの1羽分の羽の枚数は、なんと「15,186本」でした。

■「天空のペンギン」水槽給餌体験


「天空のペンギン」水槽での給餌体験の様子

当館の目玉展示「天空のペンギン」水槽のバックヤードに入り、まるで空を飛ぶように泳ぐケープペンギンたちへ、直接エサを投げ入れていただく特別な体験を実施しました。

■ペンギンの雌雄判別ができるDNA抽出ワークショップ（講師：東京農業大学　大久保倫子博士）


DNA抽出ワークショップの様子


飼育スタッフとの「ペンギントランプ図鑑」での勝負の様子

2025年10月14日に誕生したケープペンギンの仔「まろん」の雌雄判別をするワークショップを行いました。支援者のご協力による分析の結果、まろんは「オス」であることがわかりました。
また、飼育スタッフとの「ペンギントランプ図鑑」※での勝負も実施し、ペンギンについてより深く、楽しみながら学んでいただく機会となりました。

※「ペンギントランプ図鑑」とは…ペンギン大学制作のオリジナルトランプ。18種のペンギンの絵札で、ゲームをしながらペンギンのことが学べます。

感謝の意をこめて今回ご支援いただいた方のお名前をサンシャイン水族館館内に掲出させていただきます。
掲出期間：12月中旬～翌3月末まで（予定）　　掲出場所：屋外エリア マリンガーデン「天空のペンギン」水槽

支援者からのメッセージ（一部）

・ペンギンたちの住処がもうこれ以上奪われませんように！ペンギンたちが安心して暮らせる世界になりますように！
・いつもサンシャイン水族館で元気に泳ぐ姿を楽しませてもらっています。彼らの未来が明るいものとなりますように。
・水族館でよく見るペンギンが、そこまで危機だとは知りませんでした。頑張ってください！
・ケープペンギンが大好きです。10年後も100年後もずっとずっとこの地球で命のバトンが繋がれますように。
・ケープペンギンが一番好きなのに、絶滅の危機に瀕しているとは今まで知りませんでした。是非この活動を通してケープペンギン達がより救われますよう願っています。
・水族館からは生きる力をもらっています。その恩返しで、命を救うために微力でも協力したいです。

※画像はイメージです。

関係者コメント



ShoeZ　代表　/　栗原　七保子（くりはら　なほこ）

不安を抱えながらのスタートではありましたが、皆様から大きなご寄付と温かいお気持ちをいただけたこと、心から感謝いたします。幾度にも重なり人間活動から突き付けられた困難を超え、必死に生き抜くペンギンたちを、たくさんの方と共に日本から支えられることを誇りに思います。そして多くのボランティアに支えられるSANCCOBの方たちの活動にとっても、このチャレンジは大きな励みになっていることと思います。まだまだ予断は許されない状況です。これからもケープペンギンの未来を、共に考えていけたらと願います。



サンシャイン水族館　館長　/　先山　広輝（さきやま　ひろき）

皆様の温かいご支援のおかげで、目標を上回るご寄付をいただくことができました。心より御礼申し上げます。お寄せいただいた寄付金は、野生のケープペンギンの保全活動のために大切に活用させていただきます。また、本プロジェクトを通じて、一人でも多くの方にケープペンギンが置かれている危機的な状況へ関心を持っていただければ幸いです。今後もケープペンギンの未来につながる保全活動に取り組んでまいります。引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。



SANCCOB / Jessica van Dyk

温かいご支援を本当にありがとうございます。 皆様からお預かりした想いは野生のペンギンを守るために使われ、傷ついたペンギンが再び海へ泳ぎ出すその瞬間まで、“命を支える力”になります。
これからも、皆様と一緒にこの大切な命を守り続けていけたらうれしいです。

サンシャイン水族館が行うケープペンギンを守るための取り組み

水族館には、お客様が楽しみながら「命の大切さ」や「生きることの美しさ」を感じ取ってもらう役割とともに、種の保存や生態調査・研究、そして見に来た方が自然や生き物について考えるきっかけとなる「教育」の役割もあります。そのため、サンシャイン水族館では「ケープペンギンの現状を知っていただく」ための様々な取り組みを行っています。

◆「世界ペンギンの日」に合わせたイベント

毎年4月25日の「世界ペンギンの日」に合わせて、来場者の皆様にケープペンギンの直面する現状や問題について学べる展示や、飼育スタッフによる解説イベント等を実施しています。問題をより身近に、自分事として捉えていただけるよう、音やにおい、感触などでよりリアルに学べる体験型の展示を展開。これらの展示はすべて、飼育スタッフの「皆様に知っていただきたい」という想いを込めたお手製です。



ケープペンギンが絶滅の危機にあることが学べる展示



ケープペンギンの生態について体験しながら学べる展示



他園館飼育スタッフとのトークイベントの様子

◆豊島区内の小学校での出前授業

豊島区の環境教育支援プログラムの一環として、本年5月と10月に区内の小学校で出前授業（出張授業）を実施しました。日々生き物と接する飼育現場の視点から、ケープペンギンの生態を解説するとともに、気候変動や海洋環境の悪化が野生動物にもたらす影響を考えるプログラムです。ケープペンギンの絶滅危機を、子どもたち自身の生活に結び付けて考えていただく機会となりました。



出前授業の様子

◆情報発信

日々、飼育している生き物の様子を間近で観察している飼育スタッフだからこそ気づける、ケープペンギンのリアルな生態や魅力、保全に関する情報を公式SNSやYouTubeを通じて継続的に発信しています。

公式X　YouTube

※画像はイメージです。

ケープペンギンの現状

◆南アフリカに生息するケープペンギン

ケープペンギンは南アフリカやナミビア周辺等、唯一アフリカ大陸に生息するペンギンです。ペンギンは氷の上で生活しているイメージを持たれがちですが、ケープペンギンは比較的温暖な地域に生息しています。



アフリカ大陸南部　ケープペンギンが生息する環境（提供：SANCCOB）


サンシャイン水族館「草原のペンギン」水槽


2025年10月14日に誕生した「まろん」

サンシャイン水族館の**「草原のペンギン」水槽は、草木が生える本来のケープペンギンの生息イメージが観察できるように作り上げた水槽です。**岩場には巣穴もあり、絆が強いと言われるケープペンギンのペアたちが仲良く暮らす様子や、時期によっては両親がヒナを育てる様子を見ることができるかもしれません。

◆野生では97%も減少！？水族館の人気者　ケープペンギンの“今”

「ケープペンギン」は、**2024年10月の『IUCN（国際自然保護連合）の絶滅危惧種レッドリスト™』において、野生絶滅の一歩手前である「深刻な危機（CR）」に判定**されました。生息数は**1920年代から97%も減少しており、「10年後には地球上から姿を消す」**と言われています。こうしたケープペンギンの危機の背景には、人間の経済活動があります。20世紀初頭にかけて、ケープペンギンの巣となる「グアノ（糞の堆積層）」が肥料として大量採掘（白いゴールドラッシュ）され、営巣地が喪失しました。さらに年間100万個近い卵が乱獲されました。
現在、乱獲や資源としての利用はほとんどなくなりましたが、生息地周辺で行われる人間の活動が大きな脅威となっていることに変わりはありません。

エサ不足・地球温暖化や海水温上昇
人間による大規模な商業漁業（イワシなどの乱獲）に加え、気候変動や海水温上昇の影響でイワシの群れの分布が大きく移動。生息地周辺の魚の量が大幅に減少し、深刻なエサ不足に陥っています。

プラスチックごみ問題
海に廃棄された漁網や釣り針、プラスチックごみなどもケープペンギンを傷つける原因となっています。

大型タンカーの重油流出事故
大型タンカーが行き交うケープタウン沖では重油流出事故が絶えず、油まみれになり防水機能を失った多くのケープペンギンが犠牲になっています。

◆ケープペンギンと海の環境を守るために私たちにできること

ケープペンギンをはじめとする海の生き物のお腹の中からプラスチックごみが発見されることも 少なくありません。私たち一人ひとりがゴミを正しく捨てる意識を持つことで少しずつ環境を変えることができます。**落ちているごみを見つけた時もサッと拾ってごみ箱に捨てるだけで生き物の命を守ることにつながります。**
また、世界にはケープペンギンの生息地で保護活動を行っている団体や、生き物の保全について周知活動をする団体が数多く存在します。各活動を続けていくための資金は、ほとんどが多くの方からの寄付や募金に支えられています。日本に住んでいる私たちが直接そのような活動に参加することは難しいですが、寄付という形でケープペンギンの保護に携わることができます。



■サンシャイン水族館(通常営業) 概要
所 在 地 ：東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル・屋上
営業時間：10:00～18:00 ※最終入場は終了30分前 ※時期や特別営業時等により変動
入 場 料 ：大人(高校生以上)2,600円～3,200円、こども(小・中学生)1,300円、幼児(4才以上)800円 ※時期や特別営業時等により変動
問合せ先：サンシャイン水族館 03-3989-3466 https://sunshinecity.jp/aquarium/
※土・日・祝日及び特定日は、日時指定チケットの購入または日付指定WEB整理券の取得をおすすめします。詳しくは、水族館 ウェブサイトをご確認ください。

報道関係者様からのお問い合わせ先
株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・大木・藤村・小山・大浦・田口
TEL.03-3989-3329(平日9:30～18:00)　pr@sunshinecity.co.jp
共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部　内山・志野・高橋
TEL. 03-6260-4861　sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp